温
ものの せいしつ

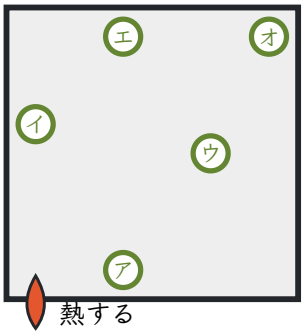
金ぞくの 温まり方

やさしい ★☆☆ ・ 金ぞくの 温まり方

熱した ところから
近いのは？



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち



1 板の 左下を 熱したよ。ろうが とける じゅんを 考えよう。

1　いちばん はやく とける ところ

◯ア ◯イ ◯ウ ◯エ ◯オ

2　いちばん おそく とける ところ

◯ア ◯イ ◯ウ ◯エ ◯オ

2 ろうが とける じゅんに 記号を ならべよう。

□ → □ → □ → □ → □

3 ことばから えらんで 書こう。

ことば　熱した ところ　上の ほう

金ぞくは □ から じゅんに 温まって いく。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ものの せいしつ ・ つぎは 「水の 温まり方」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-18

水の 温まり方

ふつう ★★☆ ・ 水の 温まり方



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 試験管の 水の 下の ほうを 熱したよ。ことばから えらんで 書こう。

ことば　上　下　全体

1 温められた 水は ［　　］ の ほうへ 動く。

2 やがて 水 ［　　］ が 温まる。

2 えらんで ○を つけよう。

1 試験管の 水の 上の ほうだけを 熱すると、下の 水は
◯ なかなか 温まらない ◯ すぐに 温まる

2 ビーカーの 水の 下を 熱した とき、先に 温まるのは
◯ 上の ほうの 水 ◯ 下の ほうの 水の まま

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ 水は 金ぞくと 同じように、熱した ところから じゅんに 温まる。

2 ◯ 水は 温められた 部分が 動いて、全体が 温まる。



ヒント

絵の具などを 入れると、水の 動きが 見えるよ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ものの せいしつ ・ つぎは 「空気の 温まり方」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

空気の 温まり方

ふつう ★★☆ ・ 空気の 温まり方

けむりの 動きを 見よう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 だんぼうの ついた 部屋で 温度を はかったよ。いちばん 温度が 高いのは どこかな。

◯ ゆかの 近く ◯ まん中 ◯ 天井の 近く

2 ことばから えらんで 書こう。

ことば　上　下　全体

1 温められた 空気は ［　　］ の ほうへ 動く。

2 空気も 水と 同じように、動きながら ［　　］ が 温まる。

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ 線香の けむりを ストーブの 上に もって いくと、けむりは 上へ 動く。

2 ◯ 温められた 空気は 下へ しずむ。

3 ◯ 冬、部屋の 下の ほうは 上の ほうより 温度が ひくい ことが 多い。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-20

温まり方 まとめ

むずかしい ★★★ ・ 温まり方の まとめ

ちがいを
くらべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 温まり方を えらんで ○を つけよう。

1 金ぞく
- ◯ 熱した ところから じゅんに 温まる
- ◯ 温められた 部分が 上へ 動いて 全体が 温まる

2 水
- ◯ 熱した ところから じゅんに 温まる
- ◯ 温められた 部分が 上へ 動いて 全体が 温まる

3 空気
- ◯ 熱した ところから じゅんに 温まる
- ◯ 温められた 部分が 上へ 動いて 全体が 温まる

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ フライパンの 取っ手が 熱く なるのは、金ぞくが 熱した ところから 温まるからだ。

2 ◯ ふろの 湯は、上より 下の ほうが 熱く なりやすい。

3 エアコンで 部屋を あたためる とき、ふき出し口の 向きは どちらが よいかな。

◯ 下向き ◯ 上向き

できたら
はなまる

つぎまる プリント

ものの せいしつ ・ つぎは 「水を 熱すると」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）